

令和3年
3月号



つちさわ

平塚警察署
土沢駐在所

☎ 31-0110

進級の時期における 少年非行・犯罪被害防止 と有害環境の浄化

少年非行・被害防止は家庭と地域の絆から！

春休みから新年度にかけての時期は、進学や進級、就職といった節目を迎えます。子供たちは新しい環境への期待に胸を膨らませていることと思います。他方で、新しい環境の中で交友関係等が変化し、子供たちが非行や犯罪被害の問題に巻き込まれてしまうこと等も懸念されるところです。

将来を担う子供たちを非行や犯罪被害から守るため、地域の皆様が一体となった地域ぐるみでの活動を推進しましょう。

みんなで声を掛け合い、地域ぐるみで少年の非行や犯罪被害を防止するための活動を推進していきましょう。

◎少年非行・犯罪被害防止について

◎令和2年中の刑法犯少年の概要（令和2年中暫定値）

・刑法犯少年の検挙補導人員は、昨年は1298人、前年比-208人、13.8%減少しましたが、刑法犯少年の約3人に1人が過去に非行を犯したことがある少年でした。

◎年齢別では、16歳以下の少年が刑法犯少年全体の49.8%

（647人）を占めており、学校職業別では、高校生が全体の43.2%（561人）を、中学生が18.3%（237人）を占めています。



◎少年を特殊詐欺に加担させない！

アルバイト感覚で、安易に詐欺組織に加担し「受け子」と呼ばれる現金やキャッシュカードの受取り役を請け負い、男子だけでなく女子も検挙される少年の事例が増えています。

◎薬物乱用は「ダメーゼツタイ！」

覚せい剤や大麻、麻薬等、少年による薬物事件が後を絶たず、特に令和2年中は、大麻で検挙された少年が県内の統計上過去最多になるなど、薬物乱用が大きな社会問題となっています。

◎有害環境の浄化について

◎少年の福祉を害する犯罪被害に遭った少年は662人、前年比-44人、6.2%減少しました。

◎SNS利用がもたらす危険性

・犯罪者は理解者のふりをして、子供に近づいてきます。実際に会うのは危険です。

・援助交際には大きな危険が伴います。

なかには、暴力団等の犯罪者から脅迫や監禁等の被害に遭ったケースもあります。

・犯罪者に手の込んだ手口を使われると、子供だけでは手に負えないことがあります。

親・先生・警察にすぐ相談を！



令和3年2月中の 土沢駐在所管内事件

(1月20日～2月20日)
器物損壊 1件
窃盗(さい銭盗) 1件
公然わいせつ 1件

駐在所速報で、先出しておりますが、2月2日に土屋の東海大学野球場付近で陰部を露出した男が目撃されています。不審な者を目撃した場合は、すぐに110番通報をお願いします。

特殊詐欺の被害防止

◎『サギ撲滅の2本柱』

- ①こんな言葉を聞いたらサギだ！
 - ・「キャッシュカードを預かります」
 - ・「ATMで医療費を還付します」
- ②留守番電話設定のお願い！
 - ・犯人は留守番電話を嫌います
 - ・常に留守電話設定を
 - ・留守電が作動する前に取らないで



ご協力願います。

このカードは、災害や事件事故に遭遇した時迷子、傷病人、高齢者を保護した時に活用する資料として駐在所に保管しています。すでにカードを作成しているお宅には、記載内容にお変わりがないか確認していますので、内容にお変わりがないか確認していただけます。

巡回連絡とは、警察官が皆さんのご家庭を訪ねて地域の犯罪や交通事故の発生状況を連絡し、犯罪の予防や交通事故防止等の地域安全情報を提供するほか、皆さんからの警察に対する要望やご意見を伺いして、安全・安心できる街づくりに反映させる活動です。

巡回連絡にご協力を